

第 25 回 ホソカワ粉体工学シンポジウムを同志社大学で開催

[日時] 平成 30 年 8 月 10 日(金) 午後 1 時 30 分～午後 5 時 30 分

[場所] 同志社大学京田辺キャンパス 恵道館 204(KD204)

[主催] 粉体技術談話会

[共催] (公財)ホソカワ粉体工学振興財団

[後援] ホソカワミクロン株式会社

去る 8 月 10 日(金)に粉体技術談話会主催、当財団共催の第 25 回ホソカワ粉体工学シンポジウムが開催され、「化粧品や医薬品で活躍する粉体工学」をテーマとして、3 件の講演があり、活発な討議が行われました。

最初の講演では神戸学院大学の市川教授から、マイクロサイズの従来型医薬品製剤において、造粒・コーティング製剤を中心にして原薬や添加剤にナノ粒子を使って nm オーダーの微細構造を設計・制御し、高機能化を図る取組みが紹介されました。

二番目の講演は、ホソカワミクロン株式会社製薬・美容科学研究センターの杉井研究員から、化粧品製剤におけるナノ粒子の活用について、DDS 機能を有する生体適合性 PLGA ナノ粒子をスキンケア製品や育毛剤の高機能化に活用している実例について説明がされました。

最後の講演では同志社大学の電気工学科小山教授から、超音波の様々な機能の中で、特に強力超音波の特性とその DDS への応用に焦点を当てた講演があり、超音波マニピュレーションやマイクロバブルを使った超音波 DDS などについて解説されました。

講演会の出席者数は 100 名を超え、講演会場は満杯状態で、いずれの講演についても大変活発な質疑応答がなされ、時間の関係で質問を受ける時間が無くなる状況でした。講演会の後、主に大学外からの参加者を対象として、見学会が行われ、3 つのグループに分かれて至心館にある理工学部化学システム創成工学科の①移動現象研究室、②分子化学工学研究室、③粉体工学研究室の見学が行われました。各研究室の主要研究テーマと関連装置および実演までの丁寧な紹介を通して、粉体工学の先端技術を垣間見ることができました。

その後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、各講師と来場者間で有意義な交流が行われました。



講演会風景



研究室見学風景



懇親会風景